



2024 年 10 月 16 日

株式会社野村総合研究所

野村総合研究所、欧州の自動車分野におけるデータ連携基盤

Catena-X の認定を日本で初めて取得

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、2024 年 9 月 20 日、欧州自動車業界のサプライチェーン全体における脱炭素（カーボンニュートラル、以下「CN」）や循環型経済（サーキュラーエコノミー、以下「CE」）の実現を支えるデータスペース¹である「Catena-X（カテナエックス）」²の認定³を、日本で初めて取得しました。

NRI が開発した EDC コネクタ⁴（データスペースに接続しデータ交換を行うソフトウェア）が、Catena-X 参加組織間で適切なデータ連携を行うソフトウェアとして、仕様に沿って正しく実装されていることが認定取得につながりました。

■ データ主権を実現する NRI 製 EDC コネクタ

欧州のデータスペースの多くは、データ所有者が自身のデータを制御し、管理する権利を持つという「データ主権」⁵の考え方を前提としています。すなわち、データの取り扱いに関する要求事項を提供側が指定し、利用者側（消費者側）がそれを遵守することを条件に、両者の間でデータ送信が行われます。

このデータ連携管理は、Usage Control（データ利用制御）と呼ばれる機能を用いて厳格に行われます。NRI 製の EDC コネクタにも、このデータ利用制御機能が組み込まれており、欧州におけるデータ主権の設計思想を正確に実装していると評価されました。

■ NRI の目指す社会課題解決と Catena-X 認定取得の意義

NRI は、CN や CE の実現、ひいては社会システムのライフサイクルマネジメント（意匠設計、構造設計、開発（生産・施工）、運用、循環・廃棄まで）の高度化という、日本政府が提唱するソサエティ 5.0⁶に向けた大きな社会課題解決への貢献を目指しています。その中で、NRI はこれらの目的のために多様な産業でデータ連携の基盤を整備する欧州の取組に強く賛同し、Catena-X の認証取得を推進しました。

Catena-X が目指すのは、まず自動車産業に関係する欧州の法規制、特に欧州電池規則⁷への対応です。欧州電池規則は欧州市場に投入される電気自動車（以下、「EV」）に搭載される電池の、製造から

再利用・廃棄に至るライフサイクル全体を管理し、電池の安全性や持続可能性などを確保しようとするものです。今後は EV に搭載される電池に対してバッテリーパスポートを発行することが求められます。このバッテリーパスポートには、原材料を採掘した鉱山や原材料の配合比率とともに、製造工程で排出された CO2 などの情報が含まれます。ここで大きなカギを握るのが「データ主権」です。電池の製造事業者にとって、原材料の組成や比率といった情報は企業機密であり、競合他社に対しては開示したくないものです。しかし、リサイクル事業者にとっては、それらの情報が必要です。Catena-X は、そのデータ連携基盤の仕組みにより、両者のニーズを満たします。

NRI は今後段階的に施行される欧州電池規則への対応に向けた検証や顧客支援を通じて、自動車産業における CN および CE 実現への貢献はもとより、日本でもはじまった産業におけるデータ連携の仕組みづくりに貢献し、ソサエティ 5.0 の実現に向けて取り組んでいきます。

■ Catena-X Managing Director Anja Misselbeck 氏からのコメント

野村総合研究所を Catena-X エコシステムに迎えることができ、光栄に思います。また、国際的な規模での協力を促進できることを楽しみにしています。

NRI という日本のパートナーが加わったことは、我々のデータスペースが国際的な連携においても意義を持ち、業界を超えて適用可能であることを示しています。私たちは共に、真にグローバルな標準を形成し続け、世界の自動車業界のデジタル変革を推進していきます。

(全文は、Catena-X の WEB サイト⁸を参照)

¹ データスペース：企業や組織間でデータを連携、共有するためのコンピュータやネットワーク上の空間。
詳しくは次の URL をご覧ください。

コラム 2024 年 3 月：欧州のデータスペースにおけるデータ主権の在り方 大塚 紳一郎
https://www.nri.com/jp/knowledge/blog/1st/2024/ips/technical_engineer/0329_1

² Catena-X：詳しくは次の URL をご覧ください。

コラム 2022 年 7 月 GAIA-X（ガイア-エックス）とカテナ-X の衝撃 データ連携による巨大なエコシステムの台頭 藤野直明
https://www.nri.com/jp/knowledge/blog/1st/2022/iis/fujino/0727_1

³ Catena-X 認定：本件は Data Provider & Consumer Service 分野での認定。他にアプリ開発等の分野あり。

⁴ EDC コネクタ：Eclipse Dataspace Components Connector 詳しくは次の URL をご覧ください。
<https://catena-x.net/en/offers/edc-the-central-component>

⁵ データ主権：詳しくは次の URL をご覧ください。

知的資産創造 2023 年 5 月号：デジタルな社会課題解決に資する「データ主権」小田島 潤
<https://www.nri.com/jp/knowledge/publication/cc/chitekishisan/1st/2023/05/01>

⁶ ソサエティ 5.0：日本政府が掲げる、我が国が目指すべき未来社会の姿。経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会像。詳しくは次の URL をご覧ください。

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

⁷ 欧州電池規則：欧州域内で取り扱われる電池において、その原材料の調達、生産、そしてリサイクルに至るすべての工

程をデータにより管理し、サステナブルな製品供給を可能とすることを目指す規則。原文については、次の URL をご覧ください。

<https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX:32023R1542>

⁸ Catena-X Web サイト：以下の URL より Anja Misselbeck 氏のコメント全文をご覧ください。

<https://catena-x.net/en/news-dates>

【お知らせに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 弓野、梅澤

TEL：03-5877-7100 E-mail：kouhou@nri.co.jp

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 マルチクラウドインテグレーション事業本部 DX 事業推進部 大塚

生産革新センター プラットフォームサービス開発二部 相田

E-mail：dx3.0-dataspace@nri.co.jp